

白石市PSCパトロール（宮城県）[より地域に根ざした活動を目指して]

団体の概要

白石市の中学校6校の約80人の中学生が主体となって活動しています。白石市を安全安心な町にしたいという思いからスタートし、結成13年目を迎えました。「PSC」とは、P=Police・警察、S=Student・生徒、C=Cooperation・協力・協同の頭文字を取っており、中学生が警察署と連携をして防犯活動を行う団体です。

活動目的は、防犯ボランティア活動を通して、白石市民としての自覚を持って地域に貢献できる人間になること、常識・非常識をしっかりと判断できる人間になることです。

活動の特徴は、中学生が自分の住む地域の課題を捉え、中学生目線で自主的に地域の防犯活動を実施しているところです。中学生が活動の主役となることは、6学区に分け全てを網羅できるという強みがあり、より広い範囲の地域隅々まで防犯意識を高めることができ、きめの細かい活動になると考えています。



活動内容

○市内6校での協働活動

春祭での犯罪被害防止の街頭キャンペーン、地域安全運動期間中の防犯キャンペーン、昨年度からはいじめ撲滅キャンペーンとしてピンクTシャツ運動を行っています。

○各校独自の地域の特色に合わせた活動

昔からの住宅地が多い学区では特殊詐欺防止の戸別訪問を、県境に位置する地域の学校では高齢者宅を訪問して鉢植えを渡す花いっぱい運動を実施しています。1軒1軒回ること、地域の皆さんと会話をしながら防犯活動をするのは、私達の住む地域を見直す良い機会になっています。高齢化が進む地域の学校では、敬老会のボランティアに参加し特殊詐欺防止の啓発活動を行っています。また、観光業の盛んな地域の学校では、車上荒らしにあわないための呼びかけなどを実施しています。

○PSCサポート協議会

白石市PSCパトロールには、中学生の活動に賛同し支える組織が結成前に設立されています。

社会奉仕団体2団体と3企業が協賛団体として協賛金1万円を、また、地区の防犯協会が協賛金4万円を、市役所や教育委員会、警察署、地区の少年補導員協会、各中学校職員から個人賛助金として1人500円をいただいて、毎年30万円前後の予算を元に、各校2万円の年間活動費を割り当て活動しています。

毎年6月にサポート協議会を開催し、決算や予算などの協議の他、1年間の活動を生徒が発表し、協賛団体や関係機関、団体に見守られる形で、警察署と協定書の締結式を行っています。

資金面の課題としては、団体結成時は10企業を超えていた協賛団体が、景気の後退とともに減少していることです。現在、白石市には工業団地の造成も進み工場や企業が多く進出してきていますので、今後、新たな企業の協賛を求めていく活動・広報をしていきたいと考えています。

他校との協働活動



学校独自の活動



今後の課題と解決に向けた取組方策

○継続的隊員の確保

中学校の生徒数は年々減少しています。PSCパトロールの活動の魅力を知ってもらうために生徒会総会で呼びかけたり、防犯活動ごとにボランティア隊員を募集するなど、各校様々な工夫をして隊員の確保に努めています。また、小学校前でのあいさつ運動、小学校を訪問していじめ撲滅運動を実施するなど、小学生に対するPRを実施している学校もあります。また現在、先生方が警察署と協力して、私達が中学校卒業後もPSCパトロールの隊員として防犯活動に関われるよう受け皿を作ろうとしています。

○中学校の統廃合

現在ある6校が来年度から4校になることで、活動区域を狭めないためには、学校が無くなる地域の防犯活動を、残った中心校が地域の防犯協会と連携して、より広い範囲の防犯活動を網羅する仕組みを考えなくてはならないと思います。この課題は、私達PSCパトロールだけでなく、地域の課題として、たくさんの人の意見と協力を得て解消していかなければならないのかもしれないかもしれません。

活動の意義

○地域の方が興味をもって話を聞いてくれる

中学生が活動をすると、地域の方は足を止め、笑顔で話を聞いてくれます。普段の生活では、防犯活動において守られる側にいるのが中学生なのかもしれません。そんな私達が動くことは、地域の目を引き、防犯についての意識を高めるには良いPRができる存在であると思います。

○地域の未来を背負う存在として自覚が持てる

あいさつ運動では多くの市民と笑顔であいさつを交わし、クリーン活動ではフラワーポットを置くと地域の高齢者が笑顔になります。こういった様々な活動をしていると、私達は地域の一員なんだ、私達もできることがたくさんある、地域を良くしたいという気持ちが高まります。

○中学生目線での防犯活動

大人とは違った目線で日常生活を送っている私達は、中学生だからこそ気づく視点があると思います。私達が作った地域の危険箇所マップには、街灯の少ない暗い道や人通りの少ない道など犯罪の起こりやすい場所や、注意しなければいけない通学路などが記されています。

○白石市PSCパトロールから広がる防犯ボランティアの輪

白石警察署管内の蔵王町にもPSCが発足するなど中学生の防犯ボランティアの輪が拡大しています。また、企業の積極的CSR活動が活発になっています。青パト団体が増加し、防犯パトロールが盛んに行われています。

白石市内における刑法犯認知件数は、白石市PSCパトロール発足時の半分に減少しています。これは、防犯意識の高まりがある証拠であり、私達の活動が地域社会に反映されていると考えて、これからも継続的に活動していきたいと考えています。

私達の職には、「安全・安心を中学生から」と書かれています。中学生だからこそできる防犯活動、中学生らしい防犯活動をこれからも警察署と連携して行い、地域の安心・安全に貢献していきたいと考えています。そして、地域の一員として、助け合い、支え合える中学生でありたいと考えています。

